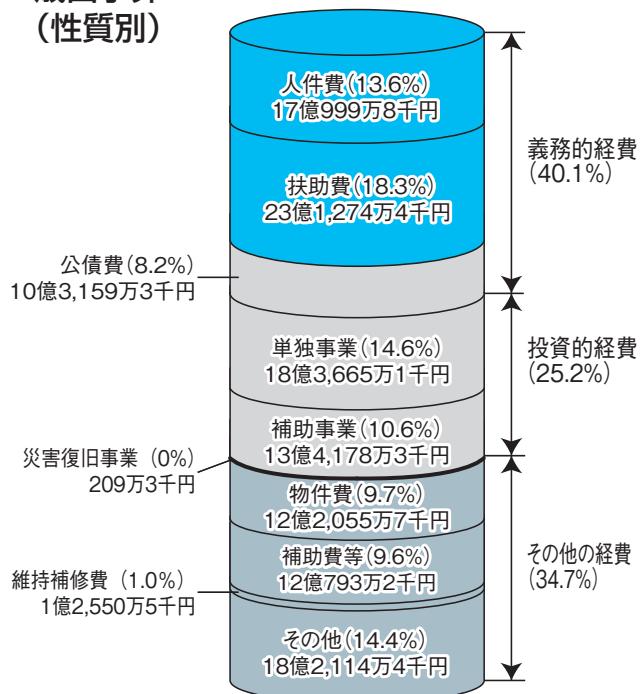


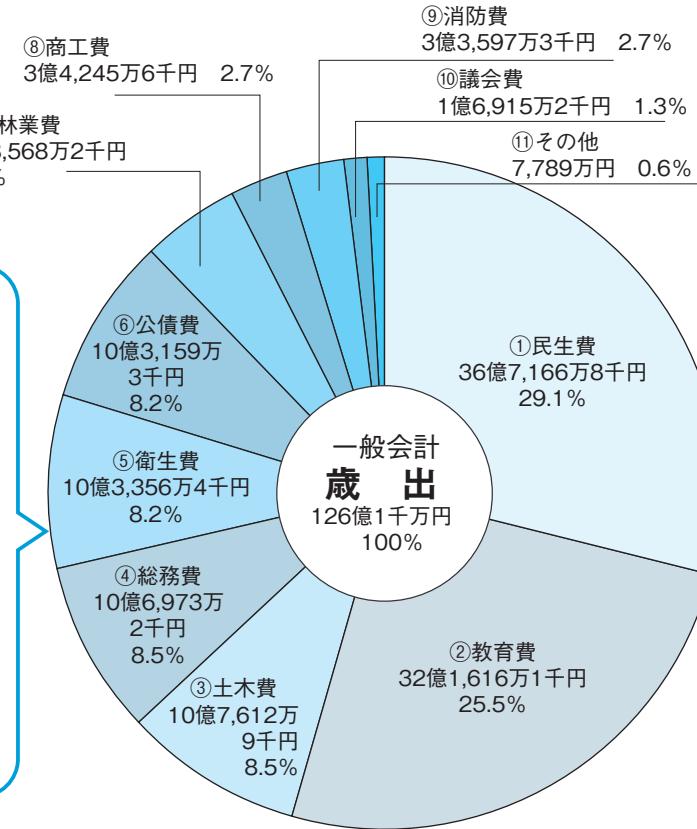
# 歳出

義務的経費のうち人件費は、前年度に比べて職員給与費や議会共済負担金の減により3千6百万円(2.1%)の減額、扶助費は、障害者支援費の増により9千2百万円(4.1%)の増額、公債費は、4千9百万円(4.6%)の減額となりました。義務的経費は歳出全体の40.1%（前年度は48.3%）を占めています。



## 用語解説

- ①民 生 費 高齢者や乳幼児、障害者などの福祉、保育所運営、同和対策や人権啓発、国民年金事務など
- ②教 育 費 小中学校の整備・管理、社会教育、芸術文化、図書館や公民館、スポーツの振興など
- ③土 木 費 道路・都市基盤の整備など
- ④総 務 費 税務・戸籍・選挙・統計などの事務や庁舎の管理など
- ⑤衛 生 費 病気の予防や健康増進・相談、ごみ処理など
- ⑥公 債 費 市の借入金の返済
- ⑦農林業費 農林業の振興など
- ⑧商 工 費 商工業や観光の振興など
- ⑨消 防 費 消防や消防団活動、災害対策
- ⑩議 会 費 市議会の運営
- ⑪そ の 他 労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費



## 公営企業会計

水道事業では、県道武雄多久線配水管工事、井上・横山統合配水池新設工事などにより支出増が見込まれ、病院事業では資本的収支の減が見込まれています。

## 病院事業会計

区分	予算額	前年対比(%)
収益的	収入	15億4,387万3千円
	支出	15億4,387万3千円
資本的	収入	1,359万5千円
	支出	2,719万円

## 水道事業会計

区分	予算額	前年対比(%)
収益的	収入	5億8,429万2千円
	支出	5億8,429万2千円
資本的	収入	1億2,598万7千円
	支出	3億3,556万1千円

## 特別会計

公共下水道事業では、処理場および管路整備事業などにより、支出増が見込まれています。

会計別	予算額	前年対比(%)
国民健康保険事業	28億1,203万6千円	+3.6
後期高齢者医療	2億4,647万3千円	+4.8
土地区画整理事業	7億9,670万4千円	+4.1
公共下水道事業	6億8,443万6千円	+62.2
農業集落排水事業	8,352万5千円	-26.8